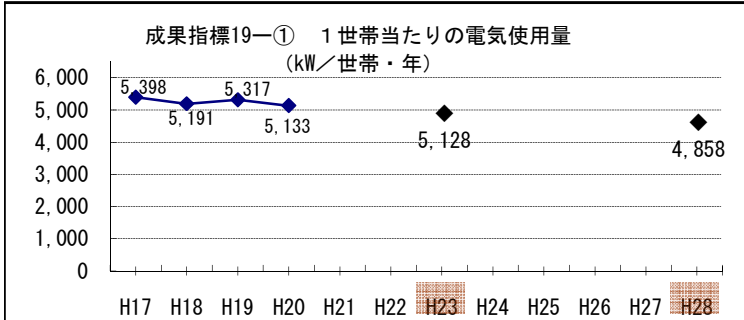
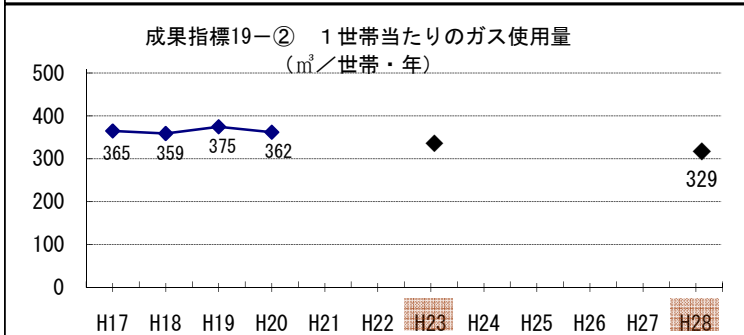


柱	4 共通基盤
分野	K 地球
ビジョン	自分達の手でライフスタイルを見直し、 きれいな地球を守る



主な事業

太陽光発電システム補助
高効率給湯器設置補助

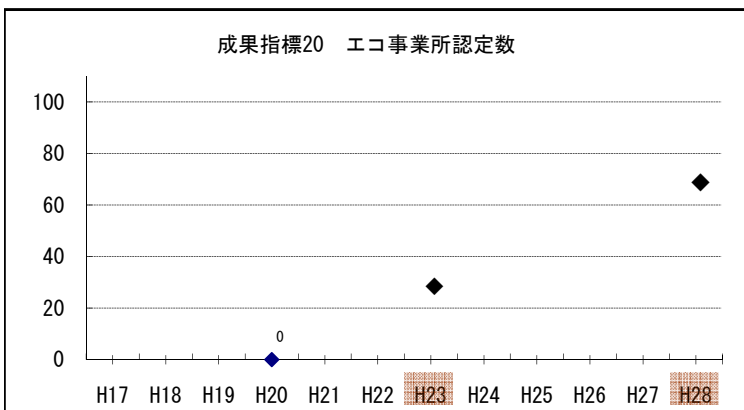


計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

家ごもり傾向による増加要因、家電の省エネ化による減少要因等以外にも気温などの影響も受けるため長期的な分析が必要である。
ここ4年の推移を見ると、電気はやや減少傾向、ガスはやや増加傾向にあるが、全体的にはほぼ横這いと言える範囲内での増減となっている。



主な事業

計画通りに成果が上がっているか

- 目標達成
- 順調
- 順調でない

成果指標の分析

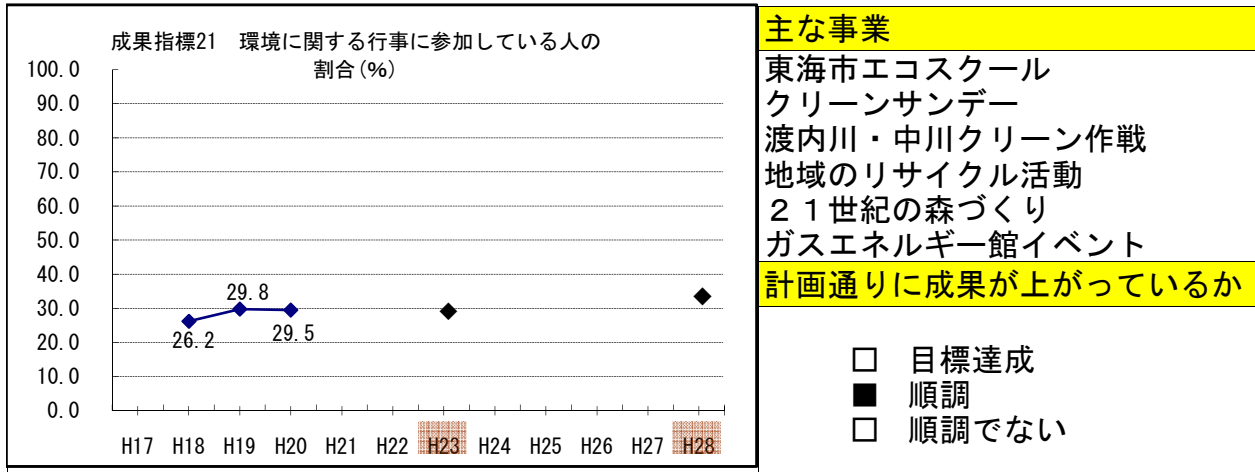
エコ事業所認定事業は制度の開始に至ってない。現在、環境基本計画庁内検討会議で、入札制度での優遇等、認定事業所に対する優遇措置について協議中である。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

家庭でのエネルギー消費はライフスタイルや気温と密接に係わっている。これらについて劇的な変化は望めないため、PR、省エネ・低炭素排出型機器の普及促進、家庭での「見える化」の研究などを続けていく。
また、エコ事業所についての調査研究を継続する。

柱	4 共通基盤
分野	L 環境学習・人づくり
ビジョン	学・思・行 相まって、未来につなげる人づくり



成果指標の分析

平成20年度より東海市エコスクールを実施しているが、数値はほぼ横這いとなっている。
 市が実施するエコスクールだけでは参加人数や内容に限られてくるため、様々な主体との協働・共創によるより一層の発展が必要である。

成果が向上する余地（可能性）は？ 大 中 小

成果向上のためにすべきこと、次年度への取り組み方針

参加者数の多い地域の清掃活動、地域のリサイクル活動に環境学習要素を取り込むことができれば、より一層効率的な学習効果が期待できる。
 また、事業所やNPOとの協働・共創によりエコスクールを充実させ、参加の機会を増やしていく。